

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月12日

協議会名: 新発田市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通観光バス(株)	あやめバス(外回り・内回り) 申請番号1~7	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画において新たな目標値を設定し、次年度の地域内フィーダー系統確保維持計画に反映した。 ・バスロケーションシステムのモニター表示施設の追加や機器更新を行い、利便性向上を図った。 ・高校生向け周知ポスターの作成やイベントでの車両展示などの利用促進を行った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p><事業の目標(目標値)></p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間利用者数7.7万人(9.2万人以上) ②年間収支率:24.8%(目標:30%以上) <p><事業の効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の公共交通空白域の改善 ・自動車の運転できない高齢者、学生などの交通弱者の移動手段の確保 ・中心市街地の活性化 <p><達成状況の分析></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の移動手段として市民に定着しているが、近年、利用者数は横ばいに推移しておりさらなる利用促進を図るため、運行内容の検証が必要となっている。 ・中心市街地における各公共施設、商業施設、医療機関等への移動手段となっており、新たに完成した市役所本庁舎の最寄りバス停の乗降者数が増加するなど、まちなかのにぎわい創出に寄与する効果が表れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者の具体的な利用動向を把握する乗降調査の実施により利用状況の検証を行い今後の利用促進策や運行見直し等を検討する。
新潟交通観光バス(株)	川東コミュニティバス 申請番号8~18	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の高校生を対象としたアンケートを実施し、通学に配慮した運行内容の検討を行った。 ・学校の登下校に合わせたダイヤ設定を行い、利便性の向上を図った。 ・地域のイベントでの車両展示を行うなど、地域住民を主な対象とした利用促進を行った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p><事業の目標(目標値)></p> <ul style="list-style-type: none"> ①1日当たり利用者数212人(180人以上) ②1日当たり運賃収入18,411円(24,600円以上) <p><事業の効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域から市街地各施設への移動利便性向上 ・自動車の運転できない高齢者、学生などの交通弱者の移動手段の確保 ・中心市街地の活性化 <p><達成状況の分析></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日当たり利用者数は目標を上回っているものの、運賃収入は目標を下回っており、さらなる利用者の確保が必要となっている。 ・無料利用者(障害者手帳提示者等)が当初の見込みを上回るなど、交通弱者の重要な移動手段として定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの周知や利用の増加を図るため、地域住民が主体となって広報紙を発行するなど、地域住民向けの利用促進を継続する。